

# 生駒市立病院の診療科目 の追加について

生駒市病院事業推進委員会  
(第15回)

平成26年11月20日(木)

午後9:00~

# 病院事業計画に掲げる診療科目

## 診療科目（10診療科）

内科・消化器内科・循環器内科・小児科・  
外科・整形外科・脳神経外科・産婦人科・  
リハビリテーション科・放射線科

# このたび追加で標榜したい診療科目

**(1) 麻酔科**

**(2) 腎臓泌尿器科**

# 追加標榜理由

## (1) 麻酔科

○麻酔科が標榜されていなくても...

院外から非常勤の麻酔科医が応援に来るか、外科医が麻酔を行うことで、麻酔を必要とする手術は可能。  
ただし、診療報酬上の麻酔管理料は加算されない。

○患者や市民に信頼感や安心感を持っていただくためには...

麻酔科標榜医による質の高い麻酔が提供できることから、麻酔科を標榜診療科に加えることがベター。

# 追加標榜理由

○麻酔科を標榜するためには...

麻酔科での臨床経験を2年以上積んで麻酔科標榜医という資格を取得している医師が必要。

○日本では近年、麻酔科医が不足しており、病院事業計画の策定当時には、麻酔科標榜医の確保は不確実であったため、診療科の標榜は行なわなかった。

○現在確保している麻酔科医は、麻酔科標榜医から、更に5年以上の臨床経験を積んだ日本麻酔学会が認定した麻酔科指導医であり、市立病院で麻酔科を標榜することが可能になった。

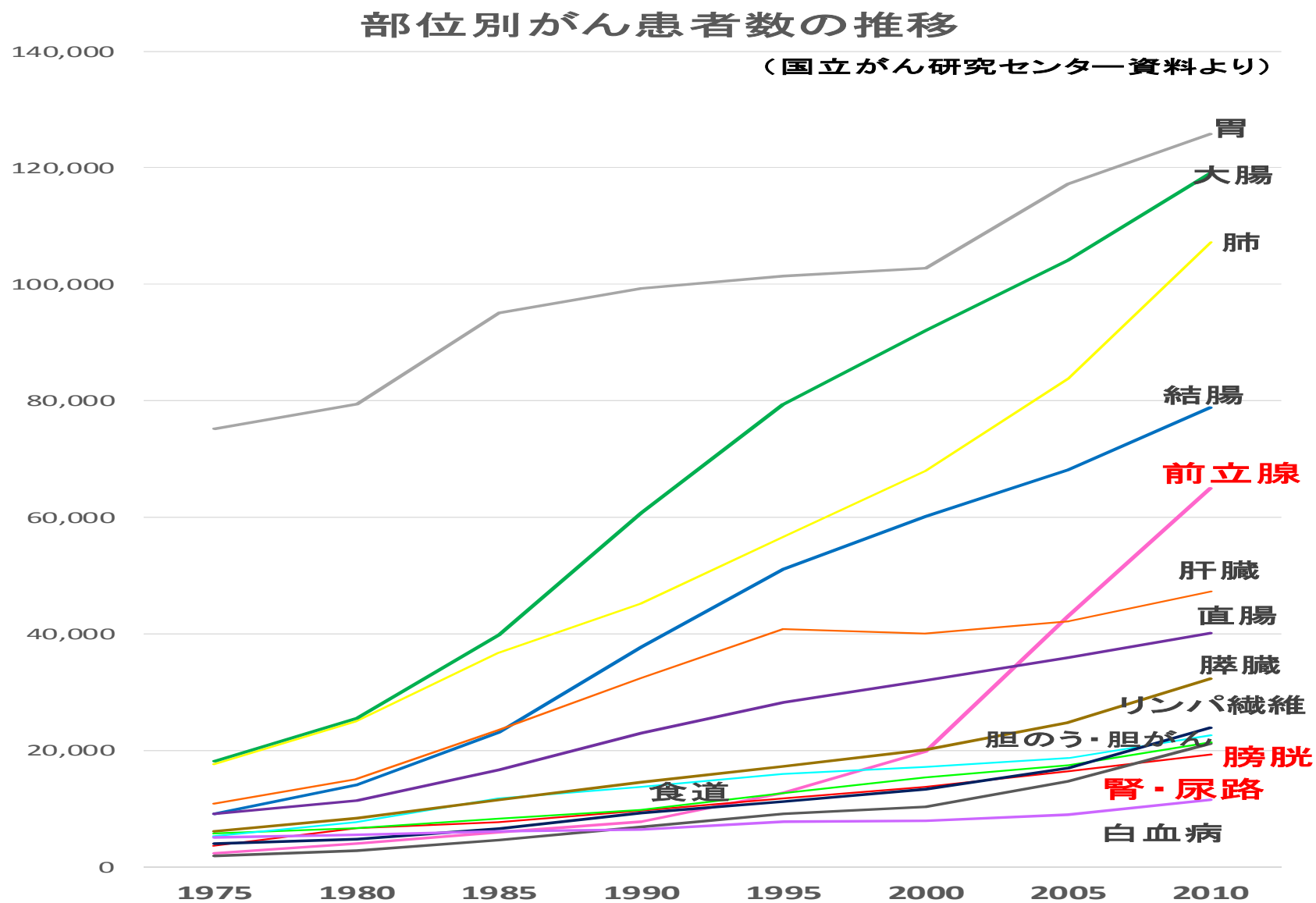
# 追加標榜理由

## (2) 腎臓泌尿器科

- 前立腺がんの増加の状況  
現在、高齢化と脂肪の多い食生活により、泌尿器科疾患は年々増加傾向にあります。とくに前立腺疾患，悪性疾患が多く見られます。  
日本人男性の前立腺がん患者数は、胃がん、大腸がん、肺がん、結腸がんに次いで5位と急増している。  
(2010年現在)

# 追加標榜理由

## ○ 前立腺がんの増加の状況（～2010年の実績）



# 追加標榜理由

## ○ 国保レセプトから見た本市の前立腺がん患者の状況

### 入院患者数（平成25年6月～26年5月）

①	大腸がん	139件
②	胃がん	100件
③	肺がん	85件
④	<u>前立腺がん</u>	<u>71件</u>
⑤	食道がん	36件

### 外来患者数（平成25年6月～26年5月）

①	<u>前立腺がん</u>	<u>2,002件</u>
②	胃がん	1,934件
③	大腸がん	1,675件
④	乳がん	999件
⑤	肺がん	896件



# 追加標榜理由

## ○ その他の泌尿器疾患の新患者の増加の状況（全国）

<b>膀胱がん</b>	1990年	9, 663人
	2000年	13, 700人
	<b>2010年</b>	<b>19, 219人</b>

<b>腎/尿路上皮がん</b>	1990年	6, 876人
	2000年	10, 837人
	<b>2010年</b>	<b>21, 130人</b>

（厚労省推計値から）

# 追加標榜理由

## ○腎臓泌尿器科で予定している診療概要

**泌尿器疾患**として、

腎臓がん、膀胱がん、結石、前立腺肥大など

**腎臓内科疾患**として、

腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全及び糖尿病  
や膠原病等からの腎臓疾患など

以上のように、腎臓泌尿器疾患全体を診療する  
予定です。

# 追加標榜理由

## ○泌尿器疾患の早期発見・早期治療の推進

近年、高齢化等により、罹患率が高くなってきている前立腺がん、尿路上皮がん(膀胱がん、尿管がんなど)の早期発見・早期治療(外科手術、ホルモン療法、化学療法、放射線治療機器の配備後は放射線治療)を推進していきたく考えています。

# 市立病院の透析医療

- ①市立病院では、原則として近隣診療所で外来維持透析を受けていた患者が、病気や怪我などで入院治療が必要になった場合など、主として入院患者に対する血液透析を行ないます。
- ②院内において、手術や造影検査、抗がん剤投与などの医療行為に関連する急性腎不全に対する対処方法として透析療法を行ないます。

# 市立病院の透析医療

- ③ 近隣の透析クリニックで患者が血液透析中に、体重増加（溢水状態）、血圧低下、腎性貧血などの冠動脈疾患を起こした場合の緊急対応を行ないます。
- ④ 電気・水道・ガス等のライフラインが断絶が想定される大規模災害時、市内の透析対応医療機関での人工透析が不可能になった場合、非常電源、非常用水道水等の確保が可能な市立病院で対応します。